

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	建設機械施工における環境対策の推進		担当部局庁	総合政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度/平成24年度		担当課室	公共事業企画調整課		課長 尾藤 勇		
会計区分	一般会計		施策名	9 地球温暖化防止等の環境の保全を行う				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	地球温暖化対策基本法案		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地球温暖化対策のため建設機械から排出される二酸化炭素の大幅な削減を目指して、ハイブリッド建設機械・電動建設機械等の新たな技術に対応した燃費測定手法の整備や、燃費データを活用した燃費基準値の設定と低燃費を実現した建設機械の普及促進を図ることにより、建設機械施工における環境対策を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地球温暖化対策に資するため、建設機械から排出されるCO2の大幅削減を目指し、我が国の先進的な技術(ハイブリッド型建設機械等)の一層の開発競争を促すための適切な評価手法を確立するとともに、CO2排出量を削減した建設機械類の活用・導入を促進する。昨年度までに、寄与率の大きな建設機械から検討に着手し、全体への寄与率60%程度までの機種・規格について燃費基準値を設定している。今年度は、燃費基準値未設定の建設機械の燃費調査と、燃費に影響を与えたと考えられる各種アタッチメント等による影響度の推計方法に関する検討を行う。これらの検討にあたっては、学識経験者等を含め産学官連携を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算	-	19	18	16	10	
		補正予算	-	0	0	0	0	
		繰越し等	-	0	0	0	0	
		計	-	19	18	16	10	
	執行額		-	14	18	-		
執行率(%)		-	72%	99%	-			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (26年度)	
	ハイブリッド型建設機械等の普及台数		成果実績	台数		200	470	1200
			達成度	%		17%	39%	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	ハイブリッド型建設機械等の燃費基準値の設定に向けた検討であるため、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。		活動実績 (当初見込み)					
単位当たり コスト	-		算出根拠	-				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.1百万円	0.1百万円	主要な機種の燃費調査が平成23年度までで終了することによる減額				
	職員旅費	0.07百万円	0.3百万円					
	委員等旅費	0.07百万円	0.07百万円					
	地球温暖化防止対策調査費	16百万円	9百万円					
計	16百万円	10百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である企画競争有識者委員会により審議していただいている。また、契約している相手方から直接報告書を提出させることにより事業実施内容を把握している。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 <競争性・透明性の高い入札方式の導入> ・発注先の選定については、企画競争で実施をしているが、より競争性の高い入札方式の導入を図るために、参加条件をより緩和するよう見直した。この条件は第三者機関である企画競争有識者委員会により審議していただいているため、競争性は向上している。 ・企画競争の透明性についても、企画競争有識者委員会により審議していただいているので確保されている。</p> <p><ハイブリッド型建設機械等の活用・導入促進を国が行う必要性> ・本施策はハイブリッド型建設機械等の活用・導入促進を行うためだけでなく、CO2排出量削減に資する技術開発を促すためにも、燃費基準値を設定するものである。 ・ハイブリッド型建設機械類の活用・導入促進は、費用対効果の面から民間だけでは難しいため、普及する段階までは国が後押しをしていく必要がある。</p>		
	<p>国が行う範囲を明確にして事業内容を絞りこんでいる。しかしながら、入札参加企業の増加はみられないことから、企画競争の参加条件の緩和を行い、より競争性・透明性の高い入札方式の導入を図るべき。</p>		
一部改善⑤	<p>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p> <p>予算執行については、参加条件の緩和を行い、競争性の向上を図る。</p>		
	<p>補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）</p>		

※平成22年度実績を記入

国土交通省
18百万円

ハイブリッド型建設機械、一般建設機械等の、CO2排出量をもとにした統一指標（エネルギー消費量）算出に向けた検討

【企画競争入札】

A.(社)日本建設機械化協会
18百万円

ハイブリッド型建設機械、一般建設機械に関する燃費試験及び建設機械のエネルギー消費量算出方法の検討

諸謝金
0.06百万円

委員等旅費
0.04百万円

職員旅費
0.01百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.(社)日本建設機械化協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
試験費	建設機械の賃料、燃費試験実施等	12.440			
人件費	業務担当者人件費等	5.513			
その他	旅費交通費	0.002			
計		17.955	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本建設機械化協会	ハイブリッド建設機械、一般建設機械に関する燃費試験及び建設機械のエネルギー消費量算出方法の検討	17.955	1	99.9%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					